

## 令和6年度第1回阿賀野市立図書館協議会

日時：令和6年7月23日 15:00～16:30

場所：市立図書館視聴覚室

出席者：長谷川委員長、新保委員、伊藤委員、飛田野委員、中島委員、高沢委員、  
図書館司書曾我、図書館司書神田、小泉教育長、塚野生涯学習課長、牧野生涯学習  
課長補佐、事務局岩城

**○生涯学習課長** それでは皆様、大変本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

定刻ですので、第1回阿賀野市立図書館協議会を開催させていただきます。  
よろしくお願いいたします。

本日の会議は午後3時から開始、4時半をめぐりに会議を進めていきたいと考えて  
ございます。

なお2名の委員より本日の会議を欠席する旨の連絡をちょうだいしておりますの  
で、お知らせさせていただきます。

初めにお願いがございます。会議録作成のために、録音させていただきますので、  
よろしくお願いいたします。また、議事録が自動作成されますので、発言につきま  
しては、相互に重ならないようにお願いいたします。

なお、この会議は、阿賀野市審議等の会議の公開に関する要綱第2条に該当する  
協議会となり、公開いたします。公表の方法は傍聴による公開といたしますが、今  
現在、傍聴者の傍聴者はお1人でございます。

また議事録につきましても、これより公開させていただきますのでよろしくお願  
いいたします。阿賀野市のホームページ等で掲載させていただきたいと思ってお  
ります。

それでは今年度4月に着任されました教育長から、自己紹介とごあいさつをお願  
いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

**○教育長** 4月1日より、教育長を拝命しました。これからお世話になりますが、ど  
うぞ皆様よろしくお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

本日はご多用の中、委員の皆様方から、阿賀野市図書館協議会にご出席いただき、  
誠にありがとうございます。また日頃より、市民の読書活動推進のため、それぞ  
れの立場からご支援ご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

日に日に夏本番を迎える中、阿賀野市内の学校は終業式を迎える予定であります。  
夏休みに入ると同時に、私はパリオリンピックが開催ということで、夏がいよいよ  
来たという感じがしております。

阿賀野市立図書館におきましても、オリンピックの特集コーナーを開設してい  
ただいて、盛り上げていただいていることを、本当にありがたく、感謝している  
ところです。子どもたちはもちろんのこと、皆様方におかれましては、熱中症  
予防に努められて、どうぞ安全で楽しい夏を過ごしていただきたいと祈念して  
いるところでございます。

さて、昨年度文部科学省は、第五次子供の読書活動の推進に関する基本的な計  
画を発し、4つの基本方針を示しました。そこで、阿賀野市といたしましても、この

度、子どもの読書活動をさらに推進するため、これまでの読書活動推進計画を見直し、第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画を策定することにいたしました。

本日は、今後の読書活動推進の方向性を決める極めて重要な協議会となりますので、委員の皆様方からは、忌憚のないご意見をいただき、全員の英知を結集し、よりよい計画を作り上げていただきたいと願っているところでございます。

最後に、本日の審議をお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

**○生涯学習課長** 今年度、最初の協議会でもございます。A委員は異動され、またB委員は退職され、今年度は、C委員、それからD委員に協議会委員としてお願いしたところでございます。D委員は所用により欠席でございますが、C委員から自己紹介をお願いしたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

**○C委員** この4月1日に、異動となりました。

皆様にはお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

**○生涯学習課長** ありがとうございます。

市役所の方も異動がございます。この度6年度の人事異動によりまして、新しい課長補佐が生涯学習課に異動して参りました。初めて顔を合わせる方もいらっしゃると思いますので、初めにご紹介をお願いします。

**○生涯学習課長補佐** 今年の4月に生涯学習課長補佐に異動となりました。よろしくお願いいたします。

皆様には図書館の運営等につきまして、日頃よりお世話になっております。これから私も、一生懸命勉強していきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

**○生涯学習課長** それでは、阿賀野市立図書館協議会の規則第二条第3項の規定に基づきまして、委員長に議長をお願いし、議事の進行につきましても、あわせてお願いいたします。

**○委員長** よろしくお願いします。

それでは、会議次第に基づきまして、議題に移ります。

議題を事務局から説明をお願いします。

(第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画案について説明)

**○委員長** ただいま第二次計画案について説明がありました。議題について質問、ご意見などありますでしょうか。ありましたら挙手にてお願いいたします。

**○OE委員** 第4章数値目標の②の中高生の平均が9%とか、随分少なくなっていますが、高校は阿賀野高校だけなのですね。

**○事務局** 市内中学校 4 校の 2 年生と阿賀野高校の生徒にアンケートをとりました。

**○OE 委員** 中学校まではわかりますが、阿賀野高校は阿賀野市の生徒ばかりではないですね。

**○事務局** 市外の方もいらっしゃいます。市内高校でのアンケートは、市内生徒の絞り方が難しいところです。

**○委員長** この数値で、全県や、全国などはあるのですか。

**○事務局** 全県とか全国で比較できるような数値はないようです。

**○OE 委員** 前年度の図書館協議会のときに、教育長が読書率をお話ししていたと思います。その時は、阿賀野市の数字は 5%ほど低いという話をお聞きしました。

**○事務局** やっぱり阿賀野市は若干低い数値です。数値目標と比較できるような数値は、全県でも全国でもあまりないようです。

**○委員長** この目標数値の設定理由は何ですか。

**○事務局**

① 阿賀野市内図書館への利用頻度を教えてください という質問ですが、対象は幼稚園・保育園園児と保護者です。第一次計画と同じ数値目標としていますが、前回アンケート時より数値は上回っています。しかしながら、第一次計画の数値目標に到達していないため、今回の数値目標は引き続き第一次計画同様 30%としました。

② 読書は好きですか という質問ですが、対象は小学生 2・5 年生、中学 2 年生・高校生です。小学生は第一次計画の数値目標に到達しましたが、中学生・高校生は大きく下回りました。今回の数値目標は小学生、中高生とも、第一次計画の数値目標と同程度の伸び率を用い設定しました。

**○委員長** ほかにございますでしょうか。せっかく時間がありますので、皆さんから一言ずつお聞きしたいと思います。

**○図書館司書 F** 先ほど事務局からブックリストの作成の話がありましたが、このブックリストの作成というのは、今回行われる予定でしょうか。

**○事務局** 行う予定です。

**○図書館司書 F** であれば、第一次計画のときのブックリストの見直しも必要かなと思いました。

○委員長 第一次計画のときのブックリストというのは、絵本の100冊のことでしょうか。

○図書館司書F そうですね。古典や名作という定番はそのままでも入れ替えの必要があると思います。北島康介の本とか、一時的なものはもう時代にそぐわないのかなと思うものもいくつかあるので、そういった本から変えたほうが良いと思いました。

○委員長 ありがとうございます。  
それでは、Gさん何かありますでしょうか。

○図書館司書G 協議会のお話や、意見、読書アンケートの結果など、私たちにとっては本当に参考になり、ありがたく思っています。

毎日できることを一生懸命やっているつもりではありますが、不足の部分がたくさんあるなど、改めて思いました。

やはり本はあるだけでは意味がなく、市民の方はじめいろんな方に利用してもらい身近に感じてもらうというところがとても大切だと思います。少しずつでも先のことを考えてもっと変わっていけるように、工夫して、子どもたちにもたくさん読んでもらえるように、これからもみんなで頑張っていきたいと改めて思いました。

○E委員 ラジオをよく聞きますが、子どもからの質問に答える番組がありまして、子どもの質問ながら、非常に専門的で、特に恐竜などすごい知識持っていますし、昆虫のことでいろいろな質問をするわけです。専門家の先生がおたおたして、お答えしています。そういう子どもの疑問に答えてあげられるのが図書館や、特に学校の図書館ではないかと思うのですね。

私は戦後すぐの生まれで、中学校1年か2年のときは、500人ぐらいいるマンモス学校に通いました。理科のときに、先生がお話した光合成がよくわからず質問しましたが、先生はすごく困った顔をされたので、私は質問をやめました。でもそういうときに、先生から何か回答があったら違う展開があったと思うし、何かしら答えてほしいわけですね。

皆さん今の高校生のことでどれくらいわかってらっしゃいますか。  
数値目標の9%が低いとおっしゃいますが、そんなことはないと思うのです。先日新幹線に乗っていましたら、隣に女子高生が座ったんですよ。お話していいか聞いたらどうぞと言ってくださって、「何しに行くの?」と聞いたら、「横浜へコンサートに行くところです。」と言い、面白い話をいろいろ聞かせてくれました。そういう楽しみを持っていて、そういうことに時間を使っているお子さんはたくさんいると思います。朱鷺メッセでコンサートがあったときに、新潟市内のホテルは全部予約で取れなくなるくらいですから。

いろんなことに興味を持っている中高生たちに、どうやって読書に興味を向けさせるのか、非常に難しいですよ、中学生も3年生ぐらいになると何を考えてるかわからないですしね。

そういう人達に、こういうところで数値だけ言っても始まりません。そういう子たちの聞く気を引く方法があるかどうかともわからないし、どんなに本をそろえたところで来てくれなきゃ始まらない、学校の図書館が一番の窓口なわけですよ。

去年の話では児童生徒に1人1台タブレットを預けているという話でしたよね。多分、そのタブレットの本の項目とか開けたら、最新の図鑑とかは見られるはずですが、そういう自由が、学校のタブレットには与えられていないみたいですね。本を見られるようにするにはアプリが必要だそうです。

**〇〇委員** 閲覧の可能なところと、そうでないところはやっぱりあります。

**〇E委員** 見られるようにしてもいいと思いますけどね。

タブレットの使い方に制限があって、私たちが読んでもらいたいと思っても、対象となる生徒たちのことを知らないのでは、始まらないんじゃないかと思います。昔から本が好きな人が一定数いて、そういう人たちが、増えたらいいとは思いますが。数値にこだわっても始まらないのではないかと思います。

たくさん児童書を借りて返しに来てくれる親御さんもいますし、図書館の児童コーナーで親子で読んでるところを見ると、それは重要だなとは重々わかります。そういう施設がありますよっていう宣伝はすごく重要だと思います。

それからもう1つ、おなじ図書館の中で、読み聞かせしたい親子と静かに本を読みたい大人が一緒にいるってことは無理ですね。子どもがちょっと走ったりするとやっぱりみんな注意する、そういうのもかわいそうだなと思うし、本だけではなく、そういうことをさせてあげたいと思うならそういう施設も必要だと思います。

**〇委員長** 本当に中高生に読んでもらいたいのであれば、私たち大人が考えるのではなく、中高生の意見を取り入れて策定すべきかなと正直思いますが、私が考えているほど簡単ではないとも思います。

**〇E委員** 本当に今の中高生は時間がないのは事実だと思いますね。どう考えても私より化粧する時間が長そうですし。

**〇委員長** ファンクラブのイベントにも出なきゃいけない、そういうのが山とあって、その他に本を読むというのは結構ハードルが高いと私も思います。

それでは順番に、H委員、何か意見がございましたらお願いします。

**〇H委員** 意見ではなく感想ですが、今いただいた第二次計画を拝見して言葉の説明の注釈をつけてくださったのはすごくわかりやすく、いいと思います。私自身理解が深まりました。

自分の孫が4ヶ月健診のときにもらってきた本をすごく大事にして、それから絵本に目を向けるようになったかなっていう、思いはとてもありますので、効果的な取り組みだなと思います。

E委員からもお話しがありましたが、小学生の「読書は好きですか」という数値目標の数値が伸びていて、すごいなと思いましたけど、6年生の孫の話ですが、その友達を見ても本当にスポーツをしている子が多く、夜遅くスポーツ少年団から帰ってくると本を読む時間なんて本当にないだろうなっていうのはとても感じます。

今の子どもたちは忙しいなと思いますが、大体今親があんまり本を読まないというのが大きいと思いますので、図書館協議会としても考えなければいけないけれども、

家族で考えていくなど、環境の作り方というのも大きいと思います。

**○委員長** 続いてI委員、何か感想などありましたらお願いいたします。

**○I委員** 今はしてませんが、ブックスタートとか、学校の読み聞かせとか、ずっとやっていて、絵本を読んで聞かせるとみんなすごく目をきらきらとして見ているのですが、その子たちが高校生以上になると本を読まないというのを実感しました。結局、時間がないのと、ノーメディアデーって書いてありましたけども、そういうのが家でできるのかなと思いました。

その時は本が好きだけでも、だんだん大きくなるにつれて、いろんな情報が入ってくる。深く考えたい人は、本を読むかもしれませんけども、パーセントにすると本当に少ないかもしれません。

子どもたちの読書環境は、私が子どものころは家に百科事典があったり、親の本があったりいろんな本があったから、本に親しむ環境がありましたが、今、家庭の読書環境は、多分本はあまりない状態で、そういうことが中高生の読書離れに影響しているのかもしれないですね。

中高生の数値目標の値が低いのは、時間がないことと、環境が変化しているということだと思います。

**○委員長** ありがとうございます。

**○J委員** 非常に難しいですね、どれが正解かというわけではなく、どういう人間ならいいのか、図書館に行く人間がいいわけではないし、どれだけすればいいかでもない。必要に迫られれば調べることができるわけですから、書籍だけでなく電子辞書とかいろんな方法がありますし、正解はないのだろうと思います。計画する側も、あまり深刻に責任を考えなくても、必要があれば調べる方法は色々ありますしね。そこに行けば調べられるという環境は必要ですが、それはこうでなきゃならないという、施設としての責任を感じる必要はないかなという気はします。朝替える最中でも足でページをめくりながら本を読む子どもや、全く読まない子どももいますし、将来どっちが悪いとか、考えるべきではないし、評価は様々です。あまり細かい数字などに責任を感じる必要はないし、もっと気楽に考えてよいと思います。

**○委員長** ありがとうございます。

**○C委員** 今回子ども読書活動推進計画の仕上がった状態を拝見させていただきまして、すごく読みやすくいい資料を作っていただいたなと思いました。

特にいいなと思ったのが、色遣いについてなんですけど、保護者向けの色と、学校向けの色に色分けがされていて、すばらしい計画ができ上がっているのだなというふうに思いました。その前に拝見したものは白黒刷りでしたが、比較するとすごくわかりやすくなったと思いました。ありがとうございます。

学校現場の立場で、いくつかお話をさせていただきたいと思います。

阿賀野市の子どもたちの読書活動がより活発になるように、本のことが好きな子

どもが多くなって欲しいというのは、共通の願いで、私もそのために力を尽くしたいと考えています。その立場でいうと、今、小学校の子どもたちの様子を見ると、みんな本が好きですね。ほとんどの子どもが好きだと思います。読み古された、6年生からすると、もう読んで読んで読み尽くされた本を、夏休みに貸出3冊ですよという話があると、図書室へ喜々として図書バックを持って、おそらく、何回も読んだ本だと思われますが、どの3冊にしようか迷いながらバックに入れて、ニコニコして出てきています。そういう、6年生5年生の様子を見たときに、本が嫌いということではなくて、やっぱりすごくいいものだということを知っているのかなと思っています。

また阿賀野市から、ご協力いただきまして、図書館の本に関して、予算をつけていただいていたいて、早速、購入させてもらいました。実は新しく入ってくる新刊に関しては、教室の方に、或いは教室と教室の間のスペースにと、子どもたちのすぐ近くに置いてあり、図書館に行き図書カードで借りるという手続きではなく、借りたければ教室でも休み時間でも読んでいいよというような方法で、子どもたちはとても本に親しんでいる様子があります。

例えば少し授業が早く進んで、或いはテストや課題等が早く終わって、少し時間がある時に、早く終わった人から本読んでいいよという指示を教師が出した場合には、子どもたちは本を借りたり机の中から出したりして、次どれ読もうかなと楽しみながら読んでいます。

そのような様子から、子どもたちは本に対して好きな気持ちを実感していることを感じます。それは、阿賀野市から予算をいただいて、子どもたちの興味のある本を、毎年毎年、何冊も購入させていただき、学校に配備しているおかげかなというふうに思っています。

1点だけ、16ページ17ページのところで、教職員による読み聞かせということが、実は学校の現場は、現実的にはないのです。6年生が1年生に読み聞かせをするというような活動は、実は4月当初には、行いますが、それは良い関係を作ることや、1年生の子どもたちが落ち着いて学校生活が始められるようにという目的で実施していますが、先生方が、時間を作って、今日は読み聞かせするよということはほとんどないのです。小学校、中学校、高等学校とさらに学齢が上がっていくと、おそらく高等学校での読み聞かせはないと思います。読み聞かせボランティアの方たちの学童でのお話とか、土日の読み聞かせなどを、もしこれを読んだ人が、学校の授業の場面でイメージするとしたら、現実的ではないのかなと思われるかもしれません。もし皆さんのご意見の中で、それでいいということであれば、この文言に関してはない方がいいのかなというふうに思いますが、ただ、過去の経緯がわからないので、何か経緯があって、述べられているようであれば違ってくると思います、という意見も含めて、感想を申し上げました。

**○事務局** 今のC委員のご意見に対しまして、「教職員による読み聞かせを推進します」という方策は、第一次計画から引き続いての方策でございます。今年1月に、学校の図書館担当の先生方に、第一次計画の現状を含めまして、状況をお聞きしたところ、こちらに関しましては特段ご意見がありませんでした。それで、その時の学校の図書館担当の先生方の意見は、教職員による読み聞かせについては、第一次計画からの引き続きの方策として取り組んでいくというふうなとらえ方をいたしましたので、今回こちらに載せていたところでございますが、いかがでしょうか。C

委員のご意見から、ちょっと現状とそぐわないというような点があるのであれば検討すべきかとは思いますが。

**〇E委員** そぐわないのではなくて、小学校では、というただし書きがあればまだわかりやすいというお話ではないでしょうか。どう考えても小学校の高学年から中学校とか高校に読み聞かせは難しいですよね。それは読む本が違うし、先生によつぽどの演技力が必要ですよね。だから、内容はいいとして、小学校とか、低学年とかをつければよいのではないのでしょうか。

**〇事務局** 中高は難しいところではあります。

**〇E委員** さっきも皆さん、読み聞かせのときに子どもたちが目をきらきらさせて聞いてくれたっておっしゃっていましたが、それは読み聞かせが好きなわけで、そこからすぐ活字に移るといふことは違うような気がするんですね。今ラジオでも時々朗読をしています、それを聞くとすごくいいなと思うし、読んでみようと思いますが、そこまで頑張って読むのは難しい。視覚障害の人に対し朗読ボランティアがありますが、「変に感情込められると困るんだよね、自分が読みたいのと違うから。」という意見もあります。朗読もいろいろあるわけですね。その辺のニーズのとらえ方とかっていうので、こういうのが出てくるんじゃないかなと思いますけど。

**〇委員長** ここでその文言を外す外さないというのは当然決められないと思いますが、私の個人的な意見をお話ししますと、私読み聞かせのボランティアをしていて、確かに子供たちはすごくよく聞いてくれるんですよ。それで、例えば、ボランティアで読み聞かせをしたときに聞いてくれるのも嬉しいですが、子どもたちは実際自分たちのよく知っている人に読み聞かせをしてもらうのが本当が一番いいと思います。知らない人が読み聞かせても、本当に何か楽しいものじゃないなと感じているのか、よく聞いてくれないとか、どこか見てるとか、そういうのは、たまにあります。だからこそやっぱり身近な、親や、おうちの方や、先生に読んでもらえると子どもたちはそれだけで、先生読んでくれるんだという感じでとても喜ぶと思います。

ただ、先生がとても忙しいので、そういう時間が本当にないとは思いますが、1年に1回でも、こういう文言が入れてあることで、たまに読んでみようかなって思う先生がいらっしゃったらいいかなあと私は思いました。

**〇事務局** ここに載せているものも、皆さんがご意見出してくださったようにして、強制では当然ありませんが、学校で目標としていただければ、ということで、委員長がおっしゃったように、先生方から読み聞かせとしてもらうと、子どもたちもすごく喜ぶだろうと第一次計画から記載しているところがございますので、忙しい先生方には、なかなか難しいとは思いますが、計画目標としてとらえていただきたいと思います。推進しますというか、少々文言の方は押さえ目な形にさせていただいて、このまま記載させていただくということではいかがでしょうか。

**〇C委員** はい。

**○委員長** 貴重な意見、どうもありがとうございました。

もう少々お時間がありますので、教育長から、ご意見等ありますでしょうか。

**○教育長** 本日は本当に様々な視点から前向きなご意見をいただき、この計画、ますます充実したものにしていただきました。感謝申し上げます。

私も日頃より、市立図書館が大好きで、休みのたびに伺って、お世話になっておりますが、改めまして、この計画書を見ると、図書館の職員の方々が、非常に市民の読書活動を支えるために、あんなこともこんなこともしてくださっていたんだなと、本当に頭が下がる思いでございます。

また、よりすてきな第二次計画を本日していただきましたので、これからも、本当に市民の皆さんが、より一層、本が好き図書館が好きという、子どもたちはもちろん、成人におきましても、そんな人々がきっと増えていくことでちょっとうれしくなりました。

皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

**○委員長** 皆様からのいろいろなご意見、ご提言がありました。ありがとうございました。事務局はこれらを踏まえて計画の策定を進めていただきたいと思います。

議題としてはこれで終了しました。

会議の進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

なお、その他ということで事務局より説明がございますので、よろしくお願いいたしますします。

**○生涯学習課長** 長時間にわたり大変ありがとうございました。また皆様からいろいろなご意見ご提案ございましたが、今後事務局では、皆様からいただいた内容を参考に修正案を作成いたしまして、先ほど言いましたとおり、パブリックコメントを実施いたしまして、市民の方からの意見を募集検討し、9月の令和6年度第2回阿賀野市立図書館協議会で皆様の方にお示しをしたいと考えております。

また大変お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

**○事務局** 先ほどC委員からいただきましたご意見で、「教職員による読み聞かせを推進します。」という一文に対し、最後の語尾を、少々変更して載せたいと思っております。語尾を変更することにつきまして、こちらに一任させていただいてもよろしいでしょうか。

ありがとうございます。一任させていただきまして、パブリックコメントとして募集していきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

そして、第2回図書館協議会を9月開催ということで考えておりますが、9月下旬から10月上旬ということで考えておりますので、追って連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

**○生涯学習課長** これによりまして、令和6年度の第1回図書館協議会を閉会とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。